



無火災を誓い、力強く訓示する工藤民一団長

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

防火・防災の決意新たに

地域の火災予防を担う団員ら450人が参加

市消防出初式は1月3日、市役所本庁舎前で行われ、消防団員400人、婦人消防協力隊員50人、消防車両40台が参加し、威風堂々とした姿を披露しました。

肌を刺すような冷たい風が吹く中、ラッパ隊の演奏に合わせ力強く分列行進。その後の式典では、今年の無火災・無災害を願い、万歳三唱が行われました。

工藤民一団長は「消防団、婦人消防協力隊が一体となり、地域防災の要として消防防災の任にあたってほしい」と訓示し、地域防災の一層の強化を誓いました。



統率の取れた行進の中、佐々木孝弘統監に敬礼をする団員



児童生徒数や校舎の状況に耳を傾ける参加者(大更小会場)

どの子も学びやすい学校に

小中学校適正配置計画案の住民説明会を開催

市教育委員会は、市小中学校適正配置検討委員会がとりまとめた計画案について、12月15日から1月27日まで市内の小中学校を会場に住民説明会を行いました。

説明会では児童生徒数の推移などに基づいた西根・松尾地区の中学校統合案などを説明しました。1月11日の説明会に参加した菅原こずえさんは「説明や意見を聞いて、さまざまな課題があることが分かった。市の良さを盛り込んだ学校をつくり、市に住みたいと思われるような学校になればいい」と期待を込めました。



第75回県民体育大会スキー競技会のジャンプ、コンバインドの両種目を開催(1月21日、矢神飛躍台)



県中学、高等学校スキー大会アルペン種目を開催(1月14、15の両日、安比高原スキー場)



ガリウムカップ第34回田山クロスカントリー大会を開催(1月8、9の両日、田山グラウンド)



感謝状を手にする(左から)高橋さん、井上さん、工藤さん

人権相談や啓発活動に尽力

退任人権擁護委員へ法務大臣から感謝状が贈呈

退任人権擁護委員感謝状贈呈式は1月13日、市役所で行われ、高橋さよさん、井上昭二さん、工藤加寿子さんの3人へ感謝状が伝達されました。

高橋さんは委員を5期15年、井上さんは3期9年、工藤さんは2期6年3カ月務め、人権相談や人権の花運動、施設訪問による啓発活動などに尽力されました。

高橋さんは「相談内容をよく聞き、相談者自身で自分の道を見つけられるよう心掛けた。仲間に助けられ、活動を進めることができた」と感謝をにじませました。



園児たちが飾りつけたミズキ飾りが届けられました

ミズキ飾りに思いを込めて

世代間交流事業の一環でミズキ飾り作りを実施

平館こども園年長児と同地区の老人クラブ連合会は1月6日、平館コミュニティセンターで小正月伝統行事のミズキ飾り作りを行い、交流を深めました。

園児たちは、豊作祈願の意味を込めた餅に、見立てた色とりどりの紙粘土や商売繁盛を願う小判など、さまざまな飾りをミズキの枝に付け、完成したミズキ飾りは同園や市役所など7カ所に飾られました。

大巻和也くんは「初めて見る飾りがあったて楽しかった。家でもやってみよう」と声を弾ませました。

モチモチの出来上がりだよ

大更小5年生が自分たちで育てたもち米を販売

大更小の5年生64人は12月20日、5月末の田植えから、稲刈り、脱穀の農業体験を通じて育てた品種「もち美人」の販売会を行いました。

1kg入りの袋には「ほっぺたが落ちるくらい米」などと児童のメッセージ入りで、児童の保護者や祖父母などが新米を買い求めに次々に来校しました。

販売した高橋照太君は「脱穀作業は稲の束が重くて大変だった。食べて良かったと思ってもらえたら嬉しい」と期待を込めました。



「いらっしゃいませ」の呼び声で、もち米を販売する児童

魅力詰まった共通返礼品を

雫石町とコラボした返礼品の取り扱いを開始

ふるさと納税の共通返礼品に関する自治体間連携協定締結式は12月22日、市役所で開かれ、佐々木孝弘市長と猿子恵久雫石町長が協定書を取り交わしました。

本協定は両市町がみちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの構成市町ということで実現。特産物を組み合わせた返礼品を一体的に発信し、地域経済の活性化を図ることを目的としています。返礼品は雫石牛とドラゴンアイビールを組み合わせた「お肉とお酒の贅沢セット」など4種類で、今後さらに増やしていく予定です。



協定を結んだ佐々木市長と猿子町長(右)



手本を参考に、門松の胴体に飾り紐を結ぶ参加者

良い年が迎えられるように

新しい年への願いを手作りの門松に込める

県民の森フォレストアイでは12月24、25の両日、門松づくりを体験する恒例の門松教室が開かれました。

参加者は手作りの門松で新年を迎えようと高さ約90cmの門松づくりに挑戦。飾り紐の結び方などに戸惑いながらも、竹の周りに縁起木の松や梅、アオキなどを飾り付けると、堂々とした門松が出来上がりました。

初めて参加したという一戸光雄さん(盛岡市)は「飾り紐の結び方が勉強になった。来年も元気に過ごせればいい」と新たな1年の無事を願いました。



大会に向け意気込む泳人さんと七海さん

きょうだいで世界に挑戦

世界大会に臨む岩渕きょうだいが表敬訪問

ラトビアで開かれるジュニア世界スキーオリエンテーリング選手権大会2023に出場を決めた岩渕泳人さん(盛岡三高2年)と妹の七海さん(松尾中2年)は1月5日、佐々木孝弘市長を表敬訪問しました。

競技は地図上のチェックポイントを順に回るオリエンテーリングとクロスカントリーを組み合わせたもので、体力と冷静な判断力が求められます。

初めての世界大会に向けて2人は「持てる力を発揮し悔いのない滑りをしたい」と飛躍を誓いました。

すなっぶギャラリー



事件・事故を防ぐため決意を新たに初点検に臨む隊員(1月9日、市交通指導隊・防犯隊合同初点検)



寄木小の児童など26人が豊年満作・コロナ終息を願い、験竿を手に練り歩く(1月16日、寄木裸参り)



イベントで行ったオークションの売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付(12月20日、西根ライオンズクラブ)



温泉郷再生計画がスタートアップ認証を受け、7年度までの実現を目指す(12月26日、(株)八幡平DMO)



約100人の住民が集い、10種目の競技を通して交流を深める(1月7日、寺田地区雪上運動会)